

知りたい！ 緑内障検査・画像診断 レーザー治療の最新知見

イブニング セミナー 4

第5会場 東京国際フォーラム ホール B5(2)
2024.4.18 (木) 17:30-18:30



座長のことば

座長 庄司 信行 先生 (北里大学)

近年、緑内障に対する診断と治療の進歩は目覚しくその診断と治療は多様化しています。さらに quality of life あるいは quality of vision を考慮した疾患の管理を長期にわたって行うことは、必ずしも容易ではありません。本セミナーでは3人のエキスパートの先生より、緑内障診療および治療に関する最新知見をお話して頂きます。まず、石川先生にアイモ vifa による緑内障診療について講演して頂き、新田先生にはスリットスキャン方式採用の眼底カメラによる眼底写真について講演していただきます。また、QOL を維持するには低侵襲な手術が望まれますが、そのひとつである緑内障レーザー治療に注目し、成田先生にマイクロパルスレーザー毛様体光凝固による治療について、自験例を含め講演して頂きたいと思います。本セミナーがご参加の先生方の明日からの日常診療の一助となれば幸いです。多くの先生方のご参加をお待ちしております。

演者



石川 大起 先生

北里大学

アイモ vifa による
緑内障診療と今後の展望



新田 耕治 先生

福井県済生会病院

緑内障診療において
眼底写真撮影の頻度が
減少していませんか？



成田 亜希子 先生

岡山済生会総合病院

CYCLO G6 を
最大限活用しよう！

庄司 信行 先生 (北里大学)

1988年 新潟大学医学部卒業	2000年 北里大学医療衛生学部視覚機能療法学 助教授
1988年 東京大学医学部附属病院眼科	2002年 北里大学医療衛生学部視覚機能療法学 教授
1991年 武蔵野赤十字病院眼科	2002年 北里大学大学院医療系研究科 教授 (視覚情報科学および眼科学)
1999年 北里大学医学部眼科学 講師	2016年 北里大学医学部眼科学 主任教授
2000年 北里大学医療衛生学部視覚機能療法学 助教授	現在に至る



石川 大起 先生 (北里大学)

2017年3月 北里大学医学部卒業	2021年7月 JCHO 相模野病院
2017年4月 北里大学病院 初期臨床研修医	2022年4月 北里大学病院 眼科
2019年3月 北里大学病院 眼科入局	2024年2月 北里大学病院 眼科助教
2020年4月 国立相模原病院	現在に至る

アイモ vifa による緑内障診療と今後の展望

卓上型視野計アイモ vifa は、暗室不要、両眼開放下での測定が可能、コンパクトな設計のため狭いスペースでの検査が可能、オリジナルプログラムにより検査時間の短縮が期待できる視野計として注目を集めている。本講演では緑内障診療におけるアイモ vifa の有用性と従来のハンフリー自動視野計やヘッドマウント型自動視野計アイモとの比較について、既報および自験データを紹介しながら解説を行いたい。



新田 耕治 先生 (福井県済生会病院)

1991年 富山医科薬科大学卒業	2012年～現在 福井県済生会病院眼科部長
1993年 富山医科薬科大学眼科助手	2013年 金沢大学臨床准教授 (学外)
1997年 福井県済生会病院眼科医長	2016年～現在 金沢大学臨床教授 (学外)
2006年 金沢大学大学院医学博士取得	現在に至る

緑内障診療において眼底写真撮影の頻度が減少していませんか？

OCT 普及により緑内障性構造変化を評価することが容易になり、眼底写真を撮影する機会が減っていませんか。最近、ローリングシャッター機構のカメラを使用したスリットスキャン方式を採用し瞳孔径が 2mm でもシャープで自然な色味の眼底写真が撮影可能なカメラが発売された。眼底写真はさまざまな情報を提供してくれ、長期の緑内障管理の一助になるので活用したいものである。



成田 亜希子 先生 (岡山済生会総合病院)

1993年 鳥取大学医学部医学科卒業	2001年 岡山大学医学部眼科学教室入局	2011年 同 眼科主任医長
1993年 鳥取大学医学部眼科学教室入局	2002年 社会保険栗林病院	2015年 同 診療部長
1993年 鳥根県立中央病院	2004年 福山市民病院	2021年 岡山大学医学部臨床教授
1999年 鳥取大学大学院医学系研究科 博士課程修了	2005年 三豊総合病院	2021年 岡山済生会総合病院 上席診療部長
	2007年 岡山済生会総合病院 眼科医長	現在に至る

CYCLO G6 を最大限活用しよう！

マイクロパルス経強膜毛様体光凝固術の特徴、症例選択、適応、マイクロパルス P3 ブローブ Rev2 使用時の設定値と注意点、再治療についてお話しし、症例を提示させていただきます。